「新しい生活様式」に関するアンケート

趣旨：「新しい生活様式」を取り入れた生活において、障害特性により不便に感じていることや、工夫していることを把握する

調査対象：障害福祉団体（５７団体）

調査期間：令和２年１０月２日～１０月９日

**問　「新しい生活様式」として、ソーシャルディスタンス（身体的距離）を確保すること、症状がなくてもマスクを着用すること、こまめに、手洗いうがい、手指消毒を徹底すること、「３密」（密集、密接、密閉）を回避すること等を求められている中で、不便を感じていることをご記入ください。**

**また、その際にどのような状況であれば不便を感じなかったか、併せてご記入ください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理  番号 | 回答 | 障害種別 |
| 1 | ３密を守れば感染リスクは下がりますが、感染が怖くて外出を控えればデイサービス、デイケアーなどの利用を避ける人がいますが身体機能低下が更に加速し、「フレイル現象」を引き起こし、今現在歩行困難が加速して困っています。  　会員は仲間と出会い会話、飲食を楽しみとしており３密を重視した中での行事に参加してコロナストレスの発散が出来る場所などがほしい。  　手洗いの件ですが、私は右マヒの為十分な手洗い、消毒が困難です。家族に手を差し出し手伝ってもらいます。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 2 | 車椅子にて買い物に行き、レジにて並んでいると車椅子の長さによりソーシャルディスタンスにて、前の人がハンカチで口をおおい大きな声で「近い！近い！うつる離れて！！」と、言われて困惑し不快感を感じました。障害者用のレジが、一ヶ所あれば、嫌な思いもせず、買い物が出来たらと、感じました。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 3 | 現在生活している施設で、３密を避けるため外部からの訪問者を制限している。このため家族の訪問も制限されるので、生活に支障を受けている。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 4 | マスクをずっと着けているのが難しい為、外出を控えています。こだわりが強い為、散歩に連れ出すのも難しく、学校での運動だけが体を動かす機会となっています。その学校でも３密回避の為、活動が制限されていて、肥満や体力低下が心配です。 | ・知的  ・精神、発達 |
| 5 | 会場に入場制限がある為、全体での行事が出来ない（分散）  　もっと広い会場が欲しい。 | ・視覚 |
| 6 | 近所を歩いても、買い物先でも、近所の方が来ても皆さん、ご自分の命を守るためにマスクをつけていらっしゃいます。  　それは現在の状況で当然のことで仕方がないと思います。しかし、聴覚障害を持つ身としては、口も見えず、表情も分からなくてとても不安になります。  　口が見えて表情も読み取れる状態になっていないと、何事も判断できません。現在の動きを自分の目で見て状況をつかめる状態であってほしいです。  　フェイスシールドを着用して頂ければ、聞こえない私たちはもっと安心できるだろうと思います。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 7 | １．小学校で登校する際に、昇降口でソーシャルディスタンスを取って並ぶことが苦手で行き渋りが始まった。担任にその旨を伝えたら、遅刻をしても構わないので皆より少し遅れて登校することになり、解決できた。  ２．食品関係の仕事なので、仕事中は一年中マスクの着用を義務付けられている。それに付け加えて通勤中もマスクを着用しなければならないことに対して、ストレスを感じている。  解決策として、職場で支給される不織布のマスクは変えられないが、通勤用のマスクは高価だが通気性の良いマスクに変更したところ、以前ほどストレスを感じなくなった。 | ・知的  ・精神、発達 |
| 8 | 緊急時等、必要な時にショートステイが利用出来ない事。医療的なケアが必要なために、夜間、看護師が不在のために、受け入れてもらえない。病院でのレスパイトは、コロナ禍で、感染リスクが高いので、利用したくない。コロナ禍でも、ショートステイ（緊急時等）が利用出来るようにしてほしい。夜間の看護師の確保をしてほしい。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 9 | 透析患者会の会長を拝命しているが、病院の指導もあり、5人以上の集会が禁止され、役員会が開催できず、書面による「持廻り役員会」でお茶を濁している。  　ガラケイ保持者が殆んどで、デジタル化に気のない者が多く、コミュニケーション不足で苦労しているが、少しでもデジタル化を進めるべく方策を練っている。 | ・内部 |
| 10 | 手洗いの大切さが理解できず、見守らないときちんと洗えていない。  　日中一時支援で、外出プログラムがなくなり、行動範囲が限られている。 | ・知的  ・精神、発達 |
| 11 | ・脳梗塞での身体不自由や心臓の疾患、言語障害、視野狭窄等の障害がありながらも通院等には、交通機関を使用せねばなりませんが、感染が怖くてなかなか出られません。（1人住いの人が数人います。）症状が安定していると主治医が診断される場合は電話（PC使用は不可）Fax等で処方されると助かります。  ・言語障害があり、マスク越しでは尚伝えることも伝わりにくいこともあります。文字もよく読めない（脳の海馬の障害による言語障害の場合文字の読み書きが困難）ので、意思の疎通は苦労が多い。マスク越しでも、時間をかけゆっくり理解できるよう相手になっていただけるとありがたいです。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・視覚  ・内部  ・知的 |
| 12 | 下肢に障害がある為、介助者と並んでいないと、行動が出来ないのだが、外出時は常に批判的な目を向けられ、時には、「密ですよ」と言われる。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 13 | 現在の状況では会員の皆様とはお会いする事が出来ず、勉強会もストップしている状態です。 | ・内部 |
| 14 | １．自閉症の人はこだわりが強くてなかなか新しい生活様式を取り入れることが難しい人が多い。  ２．感覚過敏やこだわりのためマスクをつけられない人がいる。 | ・精神、発達 |
| 15 | 18才の息子は、感覚過敏と知的な認知・理解力の不足の為に、マスクが全くつけられません。マスク着用もせずに、大声を出してしまうことも日常です。  　ソーシャルディスタンスを取るのも難しい場面が多いです。このコロナ禍で不便に感じていることは様々ありますが、上記のような状態ですので、公共の場や公共交通機関の利用をずっと控えたままです。例えば、コロナ前は移動支援を利用してヘルパーさんと路線バスに乗ったりもしていましたが、それも、３月以降止めたままです。また、毎年夏に、飛行機に乗って帰省していましたが、マスク着用をめぐる飛行機のトラブルをきいて中止したままです。  　２歳以下の子供だけではなく、障害のある方でも、マスクがつけられない状況にある人がたくさんいることを広く理解してもらえると少しは状況改善するかなと思います。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 16 | 三密が見えないのでわからない。  　こまめな消毒で肌が荒れてしまう。  　色々な所を触るので（動いたり、場所を確認するので）感染リスクが高い。 | ・視覚 |
| 17 | ・手話は表情や口形も必要なのでマスクは不便。  ・遠くから声で呼んでもわからない、肩をたたいて呼ぶ事ができないので、前にまわりこんで、手を振る。  ・人に気軽に会えない不便、手話で話す機会がなくなりストレス。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 18 | マスクをすぐ外してしまうので、電車の中などで気をつかいます。 | ・知的 |
| 19 | 白杖を使って歩行しています。マスクをしているときは、前からの音の反射が吸収され方向を失うことがあります。マスクをしていないときよりも柱や電柱にぶつかることが多くなりました。  　できれば柱にはウレタンのようなものを巻いてもらうこと。また電柱に巻いてある宣伝物貼り付け防止のシートは衝突時にすりがねにぶつかるようなけがをします。シートは安全なものにしてほしいです。 | ・視覚 |
| 20 | 子供なので、デイサービスなどに通っているが、どうしても密になりがち、何かいわれたことはないが、やはり白い目で見られる場面があるのは事実。  　また、マスクをずっとしていることもつらく、公共交通機関が全く利用できずに困っている。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・視覚  ・知的 |
| 21 | マスクを着用するのをいやがる利用者さんを定期健康診断に連れて行こうとしたが、病院側にマスクを着用しない人の利用拒否があり、困った。（その方だけ、受けられなかった） | ・知的  ・精神、発達 |
| 22 | マスクをしている人から話されると、聞こえなくて、口元が見えないので、不便でストレスを感じます。  　マスクを外してくださいと言えないですが、出来るだけ筆談していただけると助かります。  　お店のレジ、受付などの方に、透明マスクをつけてもらいたいです。  　筆談だけでなく、簡単な質問は、言葉ではなく、レジ袋、お箸などの実物を示したり、カードが書いてある表示を指さすなどの工夫をしてほしいです。  　いつもそばで書いてくれていたのですが、短時間しか書けず、ソーシャルディスタンスで近づけないので、残念に思います。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 23 | ・難聴の方に聞いた話ですが、その方が友人と会話するとき口元が読み取れないので、友人が気を遣ってマスクを外してくれるときがあり、申し訳なく思うと話されていました。  不織布マスクと同等くらい防ぐ効果がある透明マスクが、安価であまり苦労せずに手を入れやすいと良いと思います。  また、手作り布マスクの作り方の情報は多く、割に簡単に入手できます。手作り透明マスクの作り方も情報が入りやすいと良いと思います。  ・身体障害者手帳取得までいかない聞こえにくい方から聞いた話です。スーパーやコンビニのレジで店員がいろいろ聞くが、何を聞かれているか分からなくて困っているそうです。透明シートやマスクで前より聞こえにくいそう。  レジ袋が必要かと聞かれたと思い、「いいえ」と答えるようにしていたら、エコバックを持っているかと聞いていたらしく、レジ袋を買うことになってしまったことがあったとのこと。  レジ袋が必要か大きさはどれか、お弁当や総菜等を買うと箸は要るか温めるか、ポイントカードは持っているか、現金払いかクレジット払いか電子マネーか、クーポンはあるかなどいろいろ聞いていると話したら驚かれていました。  年を重ねれば聴覚もみんな衰えます。高齢者は同じ思いをされているでしょう。そういうことを知ってもらい、お店でよく聞くことはカードにしておく、またはすぐに筆談のできるボードを用意してもらえると良いと思います。絵カードだと他の障害でも助かる人がいると思います。  ・サークル活動ではなく、別な立場でですが、中難者の集まりで要約筆記をするとき、皆さんマスクをしているので言葉が聞き取りにくく、通訳するのに困ります。聴覚障害の方は聴覚障害の方は自分の声が聞こえないなどで、ご自分の声の大きさをご自分で調整できません。  要約筆記で表出できないでいると、もう一回言って下さったり、近い席の発音が明瞭な方が復唱して下さったり、要約筆記者同士で話を復唱したり、要約筆記したものを見てもらって間違っている場合は言い直ししてもらったりしています。  鼻のほうが空いている透明マスクをしている方の声は、言葉が聞き取りやすかったです。また鼻から顎まで覆う透明マスクをお使いの方がいて、その場合も割合、聞き取りやすかったです。  ・県、市の要約筆記の派遣元から、感染予防のためマスクをすること、感染リスクを下げるため眼鏡・ゴーグル・フェイスシールドなどの使用を推奨、共用物からの接触感染防止のため使い捨て手袋の使用も推奨と言われています。  要約筆記は密にならざるを得ず、互いを守るために必要だと思いますので、サークル活動でも取り入れようと思いますが、使い捨てビニール手袋はノートテイクで紙をめくるときにめくりにくいです。滑りにくく筆記に支障のない手袋をと言われていますが、どれが良いかわかりません。  また、夏はマスク、フェイスシールド、ビニール手袋は暑くて汗だくになり、（要約筆記）通訳に支障をきたします。  大きなフェイスシールドをしてマスクを外したり、滑り止め付き布手袋を使ったり、別なゴム手袋を買ってみたり、試行錯誤をしています。  全国に要約筆記者はいます。似たような職種で似たように困っている人もたくさんいると思います。どこかで対応策を考えてくれ、厚労省などで効果を検証されたものが広められると良いと思います。障害のために必要、支援のために必要な場合は、支給か、せめて安価で手に入れられるようになってもらいたいです。 | ・聴覚、平衡機能（聴覚障害者を要約筆記で支援する健聴者団体） |
| 24 | ・マスクにより、口や表情が見えず、話ができない。買い物などに不便。  ・筆記用具渡して筆談をお願いするときに、相手が筆記用具に触りたくない様子があります。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 25 | ・初めは紙のマスクを嫌がりつけるのを嫌がったが、一緒にガーゼのマスクを作ったらつけるようになった。  ・休校になり運動不足になった。コロナ前は買い物に一緒に行ったりしていたが、それが出来なかったため余計運動不足になったと思う。  ・４月にクラス替えがあったが、新しいクラスメートと馴染むのに時間がかかった。朝の会などだけでもオンラインでやってもらえたら馴染み易かったのかと思う。  ・周りでは、休校中ゲームばかりになった、生活リズムが崩れたという話も聞いた。 | ・精神、発達 |
| 26 | 時々整形外科の診察の時ですが、看護師さんが紙にＤｒの言ったことを書いてくれたりして大変助かることがあります。そのような訳で私は紙とボールペンを持って出るようにしておりますが、まだ一度も使用していません。  　病院に行きますと結構障害者の方にガイドヘルパーという方が付き添っているのを見かけます。この様な付き添いはいいなと見ています。  　マスクをした状態で話されると、本当に聞き取りにくいですね。一番の悩みの種です。 | ・聴覚、平衡機能  ・内部  ・精神、発達 |
| 27 | マスクをすると息苦しい。メガネがくもる。  　外出をする時は、マスクを忘れてしまう事があり不便だ。  　マスク代が負担である。  　バス等で空席があっても座れない事がある。  　アルコール消毒で手があれる。  　外出や外食が気軽に出来ない。 | ・知的  ・精神、発達 |

**問　「新しい生活様式」の中で工夫して行っていることをご記入ください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整理  番号 | 回答 | 障害種別 |
| 1 | 今年の夏は気温が高くマスクの着用時は息苦しいので市販の口元だけのアクリル製拡散防止マスクを購入し外出時に使用しております。200円位でした。息苦しさは、全く感じられません。  　現在よくテレビで芸能人が外出時に使用しております。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 2 | 家では、玄関先に除菌スプレー、テーブルには除菌ウエットティッシュを置き外出にも、常にマスクの予備と除菌ティッシュを、専用袋にいれて、持ち歩きしています。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 3 | 車椅子で横断歩道から歩道に上がる時に、段差が大きく登れない箇所がある。このため事前にチェックしておき、登れない箇所を記録したマップを自分なりに作っている。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 4 | 外出の際は、ヘルプマーク等、障がいがある事が分かるように目立つ所にバッジをつけています。  （急に近づいてしまったり、他人との距離がつかめないので） | ・知的  ・精神、発達 |
| 5 | 一回で終わるものが入場制限の為、二回に別れる。 | ・視覚 |
| 6 | とにかく、スマホでも筆記用具を常に持つようにしています。例えば、郵便局等に行ったら、窓口でマスクされている方にはスマホの画面に「聴覚障害者です。聞こえないので、わかるように呼んでください。」など文字を打って見せるようにしています。窓口の方はわざわざそばに来てくれ、筆談してくれています。本当に有難く思います。  　なるべく、正しい情報収集をして聞こえない仲間たちと共有するようにしております。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 7 | 工夫ではありませんが、気をつけていることとしては、公共交通機関の利用はせず、必要最低限の外出（病院への定期的受診等）をして、感染リスクを低くしています。  　重症化しやすいので。  （その分、本人のストレスは、大きいと思いますが。） | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 8 | 月１回程度で別々に所帯をもつ長男・長女の２家族と会食を持っていたが、子供達が老齢の両親への感染を嫌い極端に会うことを避けている。  　寂しい限りではあるが、最近ハヤリのTVワークを応用しての応答でお茶を濁している。 | ・内部 |
| 9 | 手洗いの時に、知っている歌を歌い、一定時間きちんと洗えるようにしている。食卓にアルコール消毒を置き、食事前に忘れず手指消毒をさせるようにしている。 | ・知的  ・精神、発達 |
| 10 | 『障害者です』というカードを作り、レジで並ぶ時に皆に見えるようにしている。 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 11 | 今は当り前になった「３密」完全終息まで厳守 | ・上肢、下肢、体幹機能 |
| 12 | 団体として集まる際には、時間をずらしてグループ制にしたり距離をとったり、できうる限りの対策をとっています。 | ・上肢、下肢、体幹機能  ・知的 |
| 13 | 手を広げて確認。  　声で判断。  　自分から声をかけたりする。  　手袋をする。 | ・視覚 |
| 14 | 手話サークル内で、フェイスガードや透明マスクを使っている。  　集まれないので、リモートを利用している。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 15 | 特にはありません。  　人ごみのなかに行くのは、普段からなるべく避けるようにしています。 | ・知的 |
| 16 | 一人で歩いて困ったときは具体的にメッセージが伝わるような言葉でお願いしています。また。黄色いたすきに書かれている「2、3分サポートお願い」を相手に示して手引きしてもらいます。 | ・視覚 |
| 17 | マスクを不足していた初期段階のころ、布マスクを施設内で作成し、利用者に配布した。 | ・知的  ・精神、発達 |
| 18 | 例会・手話学習会などで、講師や司会は、口元が見えるようにと、透明マスクかフェイスシールドを使っています。  　自分のバッグに、ヘルプマークと耳マークのバッジをつけて、相手に見せて、筆談してもらうようにしています。 | ・聴覚、平衡機能 |
| 19 | ・フェイスシールドの作り方を県内の仲間内から情報をもらったり、自分でネットで調べたりし、いくつかを参考にして自分の中の中近眼鏡につけられる、喉元まで覆う大きい物を作り、集団の場で要約筆記する際、表情、口の動きを読み取ってもらえるよう、口を隠すマスクは付けずに使用しています。  ・ある薬局。窓口には透明シートが下ろされ、薬剤師さん等はマスクをしています。「聞こえにくい方には筆談をします」の貼り紙がありました。高齢者対応でされているのだと思いますが、中途失聴や難聴の方の困惑を知る者としてうれしかったです。多くの所で同様の対応があると良いです。  ・中難の会で、表情や口の動きが読み取れ、鼻から顎まで覆う透明マスクを購入し、会の集まりで司会をするとき、手話を教えるときなどに使用しているそうです。  ・マスクは不織布の使い捨てマスクが推奨されています。でも、それでは聴覚障害者の方は口元、表情が読めず困ります。マスク等に隙間があると、使用者が感染している場合ウイルスが飛散してしまうとのこと。正しく恐れるためにそういった情報を取りつつ、不織布マスクに近い透明マスクがないか、ネットなどで探しています。手作りのそれを見つけたら試してみようと思っています。 | ・聴覚、平衡機能（聴覚障害者を要約筆記で支援する健聴者団体） |
| 20 | ・口の動きを読み取れるよう、透明のマスクを利用している。（自分が着用）  ・スマホに音声認識字幕アプリを入れ、相手の声を吹き込んでもらっている。（自分の伝えたいことは、筆談で伝える。） | ・聴覚、平衡機能 |
| 21 | ・（休校中）生活リズムが崩れないように、いつもと同じ時間に起きたり食事をしたりした。  ・休校中、タブレットを使った通信教育や市が契約した民間のオンラインドリルに取り組んだ。自分のペースで進められるのがあっているよう。  登校しぶりがある子は、休校中気が楽だったという話も聞く。休校期間以外でも、自宅からオンラインで授業に参加する・自宅で自分のペースで学習を進められるなど、集団生活になじめない子のために多様な学びの方法が確立されたらいいと思った。（設問とあまり合っていない回答ですみません） | ・精神、発達 |
| 22 | ・マスクの予備を持ち歩く。  ・人と集まる事をさけている。  ・人と話す時はなるべく離れて小声で話す。  ・ドライブスルーを利用する。  ・対面で食事をしない。  ・外出後はシャワーをする。 | ・知的  ・精神、発達 |